

沼隈町に伝わる平家の伝説

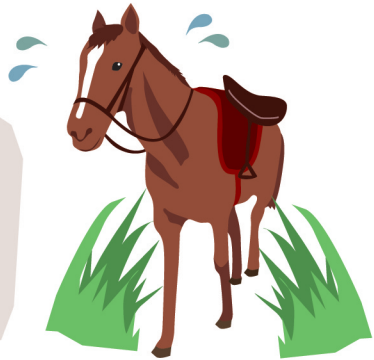
沼隈町が『平家隠れ里』と呼ばれている所以は、昔から平家にまつわる伝説が語り継がれていることからです。平通盛(みちもり)と小宰相(こさいしょう)との純愛物語や源氏の白色を忌み嫌う風習など、たくさんの伝説が残されています。



昔、平家の武将が谷を辿っていった途中、路傍に大岩があり、武将はこの岩をめがけ「わが武運いかに」と、刀で切りつけたが、刃形を残して刀は折れてしまいました。



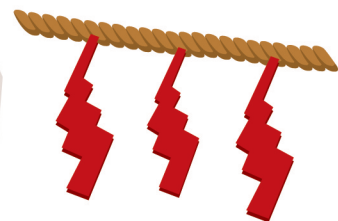
源平の合戦に敗れた平家の一団が源氏の追手を逃れ、谷を奥へ奥へと踏み分けて入りました。この道はあまりの狭さと険しさに、馬の鞍が横に傾くほどであったといわれます。そこからこの地を「横倉」と呼ぶようになりました。



能登原での源氏との合戦の際、武将の能登守教経が、見張りに「田島から白幡が押し寄せてくる」と知らされ、白幡めがけて矢を射ました。しかし、手ごたえが無く、よくみると白幡と思っただけは白鷺(しらさぎ)でした。



横倉谷にある、平家ゆかりの神社では、紙垂(しで)に赤い紙を使います。この谷の人々は昔から源氏が白幡を使っていたことから白を忌む風習があり、下帯(したおび)・手拭(てぬぐい)・下着(したぎ)に至るまで染めたといわれます。



千とせ経む
君がよはいに
藤波の
松の枝にも
かかりぬるかな

大納言隆季
だいなごんたかすえ

「平家物語」より

お勧め散策コース

- 4 赤幡神社** あかはたじんしゃ
平家の象徴の色である、赤幡が祀ってある神社。境内には榊の木があり、花の季節になると地面を赤く美しく染めます。
- 12 福泉坊** ふくせんぼう
通盛の妻、小宰相局の墓があり、春には樹齢250年を超えるとも言われるエドヒガンザクラが咲き誇ります。
- 16 通盛神社** みちもりじんしゃ
本殿には通盛夫婦の木像が祀ってあるこの神社は「平家の宮」とも呼ばれています。
- 18 平家谷 花しょうぶ園** へいけだに はなしょうぶえん
通盛がつかったと伝えられるしょうぶ湯にちなみ作られ、初夏には約500種の花しょうぶが咲き誇ります。
- 24 阿伏兎観音** あぶとかんおん
岬に建つ鮮やかな朱塗の観音堂。国の重要文化財に指定されています。海難除け、子授けや安産でも有名な観音様です。



山陽自動車 ● 福山東I.C.・福山西I.C. 約40分

沼隈町観光協会
☎084-987-0677

〒720-0311 広島県福山市沼隈町草深1891-6

平家谷ふるさと振興会
☎084-988-0178



平家隠れ里 沼隈町

源平能登原合戦の能登守教経

福泉坊の桜(沼隈町中山南)

沼隈町と平家の関係

平清盛の甥にあたる通盛(みちもり)が沼隈町横倉へ隠れ住んだという伝説から沼隈町には平家谷と呼ばれる地域があります。平家谷周辺では平家にちなんだ地名や神社など多数平家の伝説が残っています。

- 1159 平治の乱 平氏と源氏対決 平氏が勝つ
- 1167 平清盛 太政大臣になる
- 1168 厳島神社社殿修造
- 1179 後白河法皇幽閉される
- 1180 4 以仁王、平氏追討の命令
- 5 高倉上皇厳島参詣帰りに大納言隆季が千年藤の句を詠む
- 6 福原遷都
- 8 源頼朝挙兵
- 10 源頼朝鎌倉入り
- 1181 閏2 清盛の死(64歳)
- 1183 7 平氏都落ち 木曾義仲入京
- 1184 1 源範頼・源義経 木曾義仲を打つ
- 2 摂津一の谷の戦い
- 1185 2 讃岐屋島の戦い
- 3 檀の浦の戦い 平氏滅亡

能登原で源平合戦が起きる
教経率いる平家が敗れ
西国へ逃れる、横倉へ
身をひそめる者もいた

